

モーリタニア月例報告
(2020年8月)

2020年9月
在モーリタニア日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 8月 6 日 シェイフ・シディヤ首相による辞表の提出及びビラル新首相の任命
- 8月 9 日 ビラル新内閣発足
- 8月 25日 アブデル・アジズ前大統領の公金横領疑惑：銀行資産の凍結

【外政】

- 8月 10日 ニジェールにおける仏NGO関係者殺害事件に係るモーリタニア外務・協力・在外モーリタニア人省コミュニケの発出
- 8月 15日 UAEとイスラエルの国交正常化に係るモーリタニア外務・協力・在外モーリタニア人省コミュニケの発出

【開発協力】

- 8月 25日 令和2年度無償資金協力「食糧援助」の江原大使及びカーン経済・生産部門促進大臣による署名式

【G5サヘル】

- 8月 18日 マリ国軍の一部による反乱の発生に係るG5サヘル首脳コミュニケ発出

【内政】

●シェイフ・シディヤ首相による辞表の提出及びビラール新首相の任命（8月6日付当地政府系ニュースウェブサイト「モーリタニア通信（AMI）」）

1 6日朝、シェイフ・シディヤ首相がガズワニ大統領に対し政府（内閣）の辞表を提出し、同大統領はこれを受理した。

2 同日朝、ガズワニ大統領は、大統領府にてモハメド・ウルド・ビラール（M. Mohamed Ould Bilal）氏（前職は首相府付顧問）と会談し、その場で同氏を新首相として任命した。

3 ビラール新首相は、大統領との会談後、モーリタニア通信のインタビューに対し、国家に奉仕する機会を与えてくれたガズワニ大統領に感謝申し上げると述べた。

4 また、新首相は、シェイフ・シディヤ前首相が在任中に果たした任務に対し謝意を述べるとともに、現閣僚に対し新内閣の樹立まで業務遂行を継続するよう要請した。

●ビラール新内閣発足（8月9日付「AMI」）

9日、ビラール首相を首班とする新内閣が発足した。なお、主な変更点は以下のとおり。

1 新入閣した大臣

（1）法務大臣

モハメド・マフムード・ウルド・シェイフ・アブダッラー・ウルド・ボヤ（S. E. M. Mohamed Mahmoud Ould Cheikh Abdoullah Ould BOYA）

（2）経済・生産部門促進大臣

ウスマーン・ママドゥ・カーン（S. E. M. Ousmane Mamadou KANE）

（3）石油・鉱業・エネルギー大臣

アブデッサレム・ウルド・モハメド・サーレハ（S. E. M. Abdessalem Ould MOHAMED SALEH）

（4）文化・伝統産業・議会関係大臣

レムラービト・ウルド・バンナーヒ（S. E. M. Lemrabott Ould BENNAHI）

（5）社会関係・子供・家族大臣

ナーハ・ミント・ハルーン・ウルド・シェイフ・シディヤ（S. E. Mme. Naha Mint Haroune Ould CHEIKH SIDIYA）

（6）内閣官房長官

アフメドゥ・ティジャニ・チアム（S. E. Dr. Ahmedou Tdjiane THIAM）

2 横滑りした大臣

（1）大統領府付大臣

アダマ・ボカール・ソコ (S. E. Mr. Adama Bocar SOCO) (前基礎教育・国家教育改革大臣)

(2) 漁業・海洋経済大臣

アブデル・アジズ・ウルド・ダヒ (S. E. M. Abdel Aziz OULD DAHI) (前経済・産業大臣)

(3) 商業・産業・観光大臣

ナーハ・ミント・ハムディ・ウルド・ミクナース (S. E. Mme. Naha Mint Hamdi Ould MOUKNASS) (前水利大臣)

(4) 水利大臣

シディ・アフメド・ウルド・モハメド (S. E. M. Sidi Ahmed Ould MOHAMED) (前商業・観光大臣)

(5) 食料安全保障庁長官

ハビビ・ウルド・ハム (S. E. M. Hbib Ould HAM) (前経済・産業大臣付投資復興・産業開発担当大臣)

3 廃止されたポスト

(1) 基礎教育・国家教育改革大臣

(2) 経済・産業大臣付投資復興・産業開発担当大臣

4 所掌の一部変更

(1) 経済・生産部門促進大臣 (←「産業」の削除、「生産部門促進」の追加)

(2) 商業・産業・観光大臣 (←「産業」の追加)

(3) 国家教育・職業技術訓練・改革大臣 (←「中等教育」の削除、「国家教育」及び「改革」の追加)

●アブデル・アジズ前大統領の公金横領疑惑：銀行資産の凍結（8月26日付当地独立系ニュースウェブサイト「クリデム」）

1 25日、アブデル・アジズ前大統領は治安当局の要請で、更なる事情聴取のために出頭し、取り調べを受けた後、同日帰宅した。

2 情報筋によると、司法当局の要請により、財務当局は約63もの口座を凍結した。これらは国内の様々な銀行で開かれている口座であり、前大統領政権当時、または現在の政府幹部らのものである。また、当局の捜査によりこれら口座の保有者の氏名が明らかにされたため、新たな進展が見込まれている。凍結された口座の一つは当局により拘束された容疑者 (Mechri Ould Saleh 氏) が管理していたものであり、アブデル・アジズ前大統領に繋がりとみられている。また、同情報筋によれば、同口座の残高は8億ウギアであった。

【外政】

●ニジェールにおける仏NGO関係者殺害事件に係るモーリタニア外務・協力・在外モーリタニア人省コミュニケの発出（8月10日付「AMI」）

1 モーリタニアは、ニジェールのクレ地区で発生したニジェール人及び仏人人道支援関係者に対する殺害事件発生という非常に悲劇的で痛ましい知らせを受けた。

2 モーリタニアは、現G5サヘル議長国として、ニジェール及び仏両国及び犠牲者家族に対して、心からの哀悼の意を表するとともに、サヘル地域における、あらゆる形態の暴力的過激主義及び組織犯罪の根絶のためのサヘル諸国共通の取組強化を確認する。

3 また、すべてのパートナーに対し、対テロ分野における、治安上の取組み及び開発上の取組みを並行して行う統合的アプローチにより、サヘル地域のテロを根絶するためのコミットメントを果たすための措置を講ずることを呼びかける。

●UAEとイスラエルの国交正常化に係るモーリタニア外務・協力・在外モーリタニア人省コミュニケの発出（8月15日付「AMI」）

1 モーリタニア・イスラム共和国は、同胞であるUAEとの歴史的な関係及びUAEの見識と高い指導力を評価するとともに、UAEは、絶対的主権及び外交関係における完全な独立性を保持し、国家の利益、アラブ・ムスリムの利益、正義に合致する立場を取っていることを確認する。

2 我が国は、UAEがいかなる場合にもアラブ世界とイスラエルの占領下で喘ぐパレスチナ人民の利益を確保し、パレスチナ人民の権利の回復及び聖地エルサレムを首都とするパレスチナ国家樹立実現のためにあらゆる手段を講じて指導力を発揮するであろうと確信している。

【開発協力】

●令和2年度無償資金協力「食糧援助」の江原大使及びカーン経済・生産部門促進大臣による署名式

8月25日、江原大使はカーン経済・産業大臣と共に、供与額3億円となる無償資金協力（「食糧援助」）に関する書簡の交換を実施した。本計画は、食糧不足に直面している同国に対し、食糧安全保障の改善、栄養状態の改善等を目的として、我が国の政府米による食糧援助を実施するものである。



【G5サヘル】

- マリ国軍の一部による反乱の発生に係るG5サヘル首脳コミュニケの発出
 - 1 G5サヘル現議長（モーリタニア大統領）は、マリにおいて8月18日に発生した深刻な事象を他の加盟国首脳と緊密に協議しつつ、非常な憂慮を持ってフォローしている。
 - 2 重大な危機に直面し、G5サヘル首脳たちは憲法秩序及び民主的な体制を尊重し続ける旨表明する。
 - 3 右観点から、ケイタ大統領、シセ首相、閣僚、またその他の拘束された者全員を直ちに無条件で解放することを求める。
 - 4 兄弟であるマリ国民に対し、国内及び地域の利益のために、現在の国内問題解決に向けた平和的対話の道に進むよう勧告する。
 - 5 G5サヘル首脳たちは、この非常に深刻な危機を平和的に解決するために、兄弟であるマリ国民を手助けする用意がある旨再度確認する。

（了）